

2019年度福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業提案書

提案区分 【 育成支援型 】

2019年4月22日

株式会社久留米リサーチ・パーク
代表取締役社長 石丸 茂夫 殿

提案事業者名 株式会社〇〇〇
代表者職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇印

福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業実施要綱第8条の規定に基づき、2019年度福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業の育成支援型に提案します。

記

年度の記載漏れに注意してください。西暦での記入をお願いします。

1. 研究開発テーマ名

「ここにテーマ名を記入してください」

2. 事業の目的及び内容

別紙（様式第1号－2～7）のとおり

3. 事業費総額及び受託申請額（税込で記載ください。）

2019年度の事業費総額 6,000,000 円

2019年度の受託申請額 4,000,000 円（事業費総額の2/3以内）

4. 共同研究者

〇〇大学 〇〇学部
株式会社〇〇〇〇

共同研究機関がない場合は、
記載は不要です。

※個人で提案される方は、提案企業名欄に「個人」と記載し、代表者職氏名欄に氏名を記載する。

※採択された場合、提案者名及び共同研究者名は、採択発表等の際に公開の対象とする。

(様式第1号－2)

事業総括表

研究開発 テーマ名（注1）	DNA新規解析技術の開発			
研究開発の要約 （注1）	※研究開発の目的、内容の概要等を120字以内で記載する。			
研究開発の目的				
研究開発の概要				
事業受託希望 期間	2019年 6月 1日 ～ 2021年 2月28日 ※育成支援型の受託希望期間は2年以内とする。			
研究開発に 係る事業費 （単位：千円）	年 度	2019年度	2020年度	計
	総 額	6,000千円	6,000千円	12,000千円
	受託申請額 （総額の2/3以内）	4,000千円	4,000千円	8,000千円
研究開発の 実施場所	※主要な研究場所を記載、複数可 株式会社〇〇〇、〇〇大学			
事業統括責任者	(氏名) 〇〇 〇〇 (所属 職名) 〇〇部 部長 (連絡先) 〒: 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇市〇〇〇番〇〇号 TEL: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp			
他の助成の状況	※当該実施テーマに関連して、他の助成を受けた実績、あるいは申請中のものがあれば、その 名称、期間、予算を記載する。			

(注1) 採択された場合、「研究開発テーマ名」「研究開発の要約」は採択発表等の際に公開の対象とする。

※「研究開発に係る事業費」の「総額」には、当該年度の開発全体に要する費用の総額を記入し、「受託希望額」には当該年度の受託希望額を記載する。※総括表の用紙はA4縦位置とし2枚にまとめる。

事業化計画	
研究開発する製品 又はサービス等	DNA解析において〇〇を利用して高速、簡易的に解析 できる新規技術を開発する。
1. 製品又はサービスの内容と研究開発スケジュール（具体的に記述する。） ①製品化する企業名 製品化する企業：株式会社〇〇〇〇 製品化する技術：〇〇を利用して高速にかつ簡易的にDNAを解析できる新規技術 および新規サービスの実用化 ②時期 2021年1月～ 高速化装置の試作機を使用して〇〇大学と共同でサンプル解析 を開始する。 2021年4月～ 高速化装置の改良、自社でのサンプル解析を開始する。 2021年10月～ 高速化装置を使用して開発した新規分析手法でのサンプル解析 を開始する。 2022年4月以降 新規解析手法でDNA解析の受託サービスを商品化する。 ③想定ユーザー及び用途 各大学、研究機関および一般企業 ④スケジュール 2019年6月～2021年12月 DNA新規解析技術の開発、高速化装置の設計、開発 開発する新規解析技術についての知財化検討および関連技術の調査 2021年1月～ 高速化装置の試作機を使用して〇〇大学と共同でサンプル解析 を開始する。 2021年4月～ 高速化装置の改良、自社でのサンプル解析を開始する。 2021年10月～ 高速化装置を使用して開発した新規分析手法でのサンプル解析 を開始する。 新規解析技術の知財化（特許出願） 2022年4月以降 新規解析手法でDNA解析の受託サービスを商品化する。 2. 開発製品に関する市場性・市場規模 現在の市場分析と市場規模を記載して、開発、実用化を目指す新規技術に関する 市場、獲得できると予測される市場規模、需要予測を記載してください。	

(様式第1号－3)

提 案 者 概 要

企 業 名	株式会社□□□□□			
代 表 者 職 氏 名	代表取締役 ○○ ○○			
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
研究開発の主な 実施場所(施設)	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
資 本 金	○○,000,000 円			
従 業 員 数	全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	分析機器の代理店販売、メンテナンス、各種成分分析の受託など			
企 業 の 沿 革	平成 元年 6月 当社設立 平成 元年 6月 設立登記 平成 2年10月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成13年 4月 本社ビル竣工 平成14年 3月 ○○社と技術提携 平成15年 4月 資本金を○○○○万円に増資			
業 績 ※過去 2期分	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
	2017年3月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
	2018年3月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
保 有 設 備	高速液体クロマトグラフ、恒温インキュベーター、クリーンベンチ等			
研究開発統括 責 任 者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課長 (連絡先) TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
研究開発担当者	○○部 ○○課 主任研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
経 理 担 当 者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課 課長 (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。			

※提案者概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

(様式第1号－4)

共同研究機関の概要（企業用）

企 業 名	株式会社□□□□□			
代 表 者 職 氏 名	代表取締役社長 ○○ ○○			
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○			
共同研究の実施 場 所 （ 施 設 ）	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○			
資 本 金	○○, 000, 000 円			
従 業 員 数	全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	科学分析装置の設計、製造、			
企 業 の 沿 革	平成 元年 6 月 当社設立 平成 元年 6 月 登記 平成 2 年 1 0 月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成 1 0 年 4 月 営業所を○○県○○市に開設 平成 1 5 年 3 月 本社を○○市に移転、自社ビルオープン			
業 績	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
※過去 2 期分	2 0 1 7 年 月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
	2 0 1 8 年 月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
共同研究責任者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部 ○○課長 (連絡先) TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○. co. jp			
研 究 担 当 者	○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。			

※共同研究機関の概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究（企業用）が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

(様式第1号－5)

共同研究機関の概要（大学・公的試験研究機関等用）

大 学 等 名	△△△△大学
代表者職氏名	学長 ○○ ○○
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○
共 同 研 究 の 実 施 部 署	○○学部○○学科 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○
共同研究責任者	(所属 職名) ○○学部 教授 (氏名) ○○ ○○ (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.ac.jp
研 究 担 当 者	○○学部 助教 ○○ ○○
研 究 分 野 と 主 な 研 究 実 績	例) ○○学部 教授 ○○ ○○ 分子生物学 DNA 分析・解析が主な研究分野。特に生体内での○○DNA○○の新規機能について解明した。DNA 分析・解析で、新規医薬開発や他分野への応用について研究中。 例) ○○学部 助教 ○○ ○○ 細胞生物学 DNA 細胞の機能発現と制御機構について研究している。最近、DNA の新規機能について○○教授とともに解明した。細胞内での選別輸送などについても研究している。
添 付 資 料	※大学の案内パンフレット等を添付する。

※共同研究機関の概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究（大学・公的試験研究機関等用）が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

※大学・公的試験研究機関の案内はホームページを印刷したものでも可。

(様式第 1 号－ 6)

事業費収支予算書

自己資金は合計から受託事業費を差引いた額を記載する。

◇収入の部

税込(単位:円)

区 分	2019年度予算額	2020年度予算額	備 考
自己資金	2,000,000	2,000,000	
借入金等	0	0	
受託事業費	4,000,000	4,000,000	受託申請額(税込)を記入する
合 計	6,000,000	6,000,000	

2019年度予算額の内訳を記載する。単位は円

◇支出の部

単位:円)

区 分	2019年度予算額	2020年度予算額	備 考
機械装置・備品購入費	500,000	750,000	機械装置名・単価記載
人件費	1,150,000	1,925,000	研究員○○○○ 人件費
原材料費・消耗品費	1,800,000	1,800,000	主な品名を記載
旅費	50,000	25,000	主な出張先を記載
外注費	1,000,000		委託内容・委託先を記載
共同研究等の経費	1,500,000	1,000,000	共同研究先名を記載
知的財産権の出願等の経費		500,000	知的財産権を支出する場合の経費を記載
その他の経費			経費内容を記載
合 計	6,000,000	6,000,000	

※支出と収入の合計額は、一致する。

※収支予算書の用紙はA4縦位置とし、1枚にまとめる。

(様式第 1 号－ 7)

事業内容説明書

※事業内容説明書の用紙は A 4 版縦位置とし、項目 1 (研究開発テーマ名) ～項目 4 (本個別事業により期待される効果) は 1 0 枚以内にまとめる。

1. 研究開発テーマ名

「研究開発テーマ名を記載する。」

2. 研究開発の内容

※研究開発の内容の (1) 研究開発目標～ (4) 研究開発スケジュールについては、 A 4 で 2 枚以上 4 枚程度にまとめる。

(1) 研究開発の目標 (目標の明確さ、実現可能性を審査します)

※研究開発の最終目標を記載。最終的な製品、技術について、必ず数値を用いて具体的に記載する。

【個別事業終了後目標】

〇〇を利用して高速にかつ簡易的に DNA を解析できる新規技術および新規サービスの実用化を行う。

※本年度の研究開発の目標を記載。必ず数値を用いて具体的に記載する。

【本年度の目標】

DNA 新規解析技術の開発、高速化装置の設計、開発を行い、高速化装置の第一弾試作機の設計を年内に終え、試作機を年度内に完成させる。

(2) 研究開発の具体的な内容 (方法・遂行能力を審査します)

※実施する内容について、次の項目について記載する。

項目は 3 項目記載していますが、必要に応じて、追加・削除してご記入ください。

1) サブテーマ 1 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

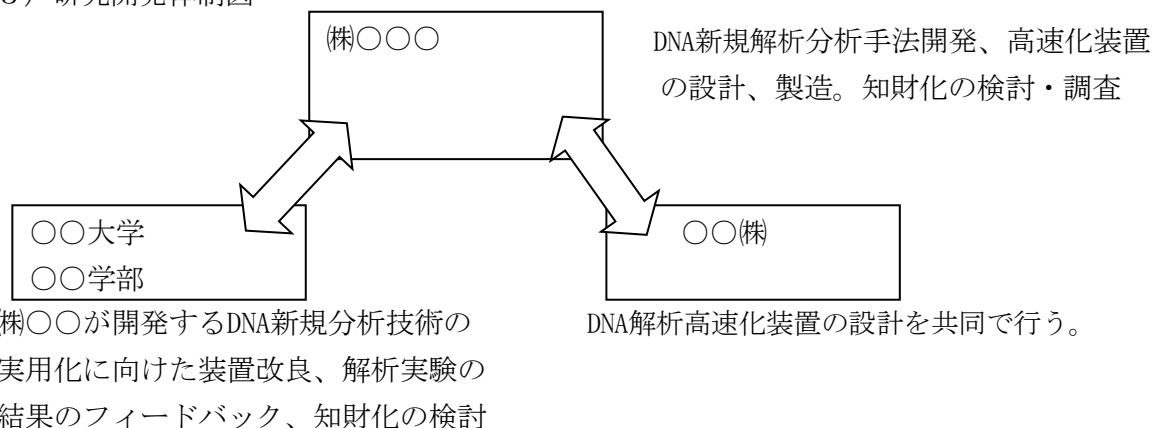
2) サブテーマ 2 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

3) サブテーマ 3 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

(3) 研究開発体制図



(4) 研究開発スケジュール

※実施項目の日程を——で記載する。

※他の実施項目の結果に基づき実施する項目については、それらの関係を~~→~~明示する。

※研究開発の進捗管理を行うためのチェックポイントを表中に a、b、c等で明示し、表の下にそのチェック内容を記載する。

2019年度（初年度）

サブテーマ名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
DNA新規解析技術の開発	a	——	——	——	——	——	——	——	——
DNA解析高速化装置の設計、製造			b	——	——	——	——	——	——
DNA新規解析技術の知財化調査			c	——	——	——	——	——	——

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

- a DNA 新規解析技術の検討（〇〇大学との共同研究）
- b DNA 解析高速化装置の設計、製造（〇〇(株)との共同開発開始）
- c DNA新規解析技術の知財化調査（〇〇大学との共同で調査）

2020年度（次年度）

サブテーマ名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
DNA新規解析技術の開発	——	——	——	——	d	——	——	——	——	——	——
DNA解析高速化装置の設計、製造	——	——	——	——	e	——	——	——	——	——	——
DNA新規解析のサンプル分析開始					f	——	——	——	——	——	——
DNA新規解析技術の知財化調査						——	——	——	——	——	g

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

d: DNA新規解析技術の開発検討終了 e: DNA解析高速化装置の設計、製造終了
f: 開発した高速化装置（デモ機）を用いてDNA新規解析のサンプル分析開始
g: 知財調査終了および出願書類作成

(5) 研究開発の新規性、競争優位性 (新規性、研究開発要素の有無を審査します)

※当該技術の背景、新規性、既存技術に対する競争優位性について記載する。

※実施しようとする研究開発を取り巻く産業や技術の現状について記載する。

※類似の既存技術又は製品の性能や用途、技術的及び経済的な問題について記載する。

※研究開発により、類似の既存技術又は製品の欠陥をどのように改善できるか等について、具体的に記載する。

(6) 研究開発の権利化の見通し (事前調査、基礎研究について審査します)

※類似の研究開発について、他企業、大学等の研究開発及び知的財産権の動向と当該研究開発の関連について記載する。

(7) 基礎となる技術及び研究（導入技術を含む）

(事前調査、基礎研究について審査します)

※研究開発テーマごとに、次の項目について記載する。

1) 題目（技術又は研究）

①主要担当者

②研究内容と成果（具体的に記載）

2) 題目（技術又は研究）

①主要担当者

②研究内容と成果（具体的に記載）

※特に、特許の出願、取得等について成果を記載する。

※特許については、名称、出願番号、又は取得年月日も記載する。

3. 事業化計画 (実用化に向けた研究開発かどうか審査します)

(1) 事業化内容

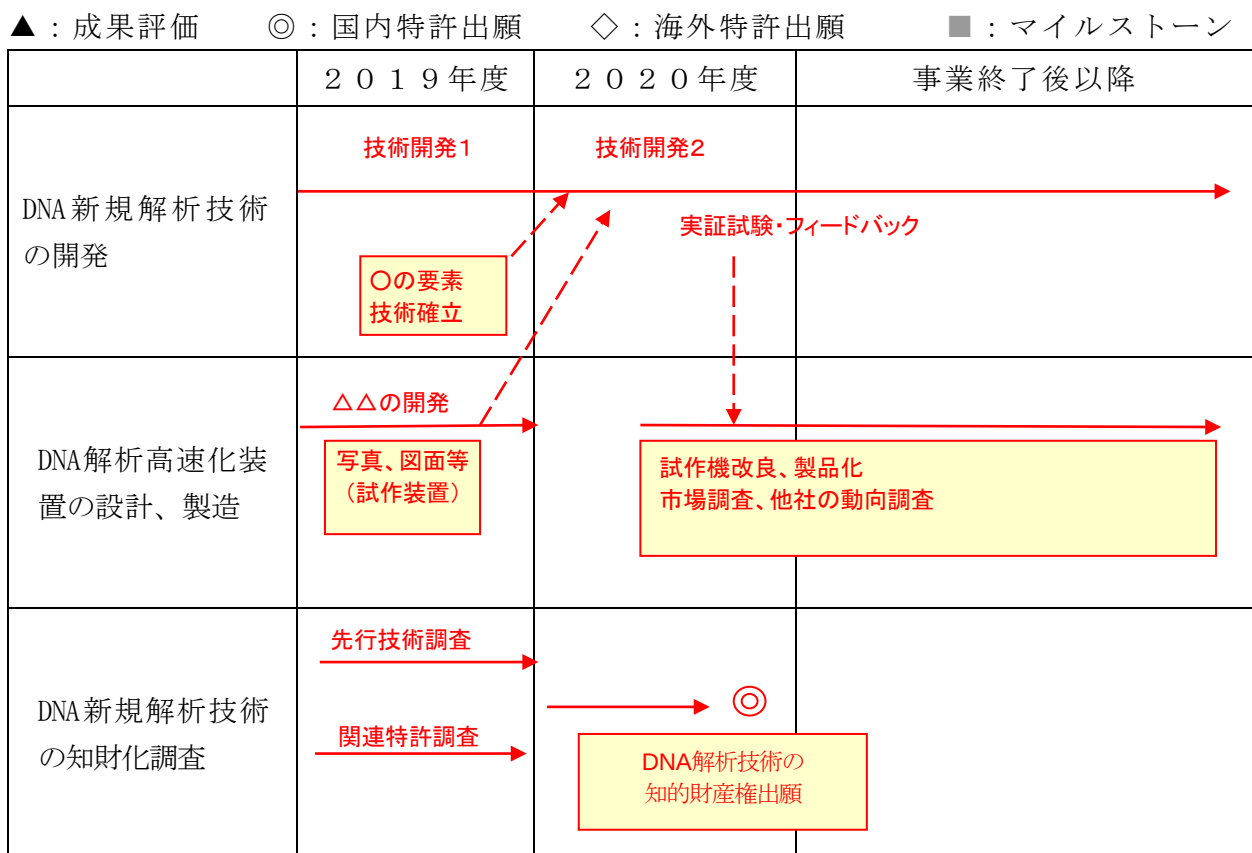
※研究開発成果を具体的にどのような製品・サービスとして事業化するのかを記載する。

(2) 事業化内容の競争優位性

※既存製品及び競合製品等との比較、競争優位性を具体的に記載する。

(3) 市場規模 ※具体的に数値を上げて、参入市場規模及び市場シェアの獲得目標を記載する。

(4) 事業化ロードマップ



(5) 事業化に伴う課題とその対応策

※新規事業開始後のリスク、その対応策及び資金調達、事業提携計画等を記載する。

4. 本個別事業により期待される効果

※経済的効果、バイオテクノロジー関連産業に及ぼす波及効果について、具体的に記載する。

※県内産業への経済的・技術的波及効果についても記載する。

5. 他の助成制度への提案及び実績

(1) 他の助成制度への提案

※他の助成制度へ当該テーマ又は類似テーマの提案を行っている場合は記載する。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成メンバー、エフォート		%
(2)制度の所管		
(3)制度名		
(4)課題名		
(5)助成期間、金額	(単位：千円)	
(6)実施状況		
(7)本提案との関連性		

(2) 過去における実績

※過去3年間に終了した助成事業等を記載する。

※該当する助成事業が多い場合は、表を追加しての記載可。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成メンバー	
(2)制度の所管	
(3)制度名	
(4)課題名	
(5)助成期間、金額	(単位：千円)
(6)本提案との関連性	

6. 研究開発内容の概要（ポンチ絵）

※研究開発の目的、内容の概要、事業化等をA 4 版縦 1 枚にまとめて図示する。